

## 第 6 章

平成31年度（令和元年度）  
全国学力・学習状況調査結果について

## 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果について

### 1 調査の概要

(1) 調査日時 平成31年4月18日（木）

(2) 調査の対象学年

○小学校等・特別支援学校小学部 第6学年

○中学校等・特別支援学校中学部 第3学年

(3) 調査内容

① 教科に関する調査

◇国語

◇算数・数学

◇英語

② 生活習慣や学習環境等に関する調査

◇児童・生徒質問紙調査…学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

◇学校質問紙調査 …指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

### 2 調査実施校数、児童・生徒数（東京都公立）

(1) 小学校等・特別支援学校小学部

区 分	学校数	児童数
小 学 校 等	1, 277校	93, 345人
特別支援学校小学部	14校	69人
合 計	1, 291校	93, 414人

(2) 中学校等・特別支援学校中学部

区 分	学校数	生徒数
中 学 校 等	622校	71, 395人
特別支援学校中学部	14校	63人
合 計	636校	71, 458人

### 3 教科に関する調査結果の概要

※ 細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないことから、正答率については小数点以下を四捨五入した結果を示す。（文部科学省方針）

(1) 小学校

各教科の平均正答率

教 科	東京都（公立）	全国（公立）
国語	65%	64%
算数	70%	67%

(2) 中学校

各教科の平均正答率

教 科	東京都（公立）	全国（公立）
国語	74%	73%
数学	62%	60%
英語	59%	56%

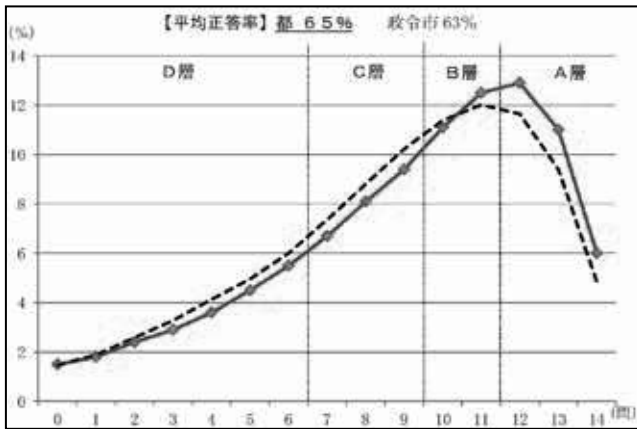
#### 4 「政令市」と東京都の比較

東京都 ——— ◆ ——— 政令市 - - - - -

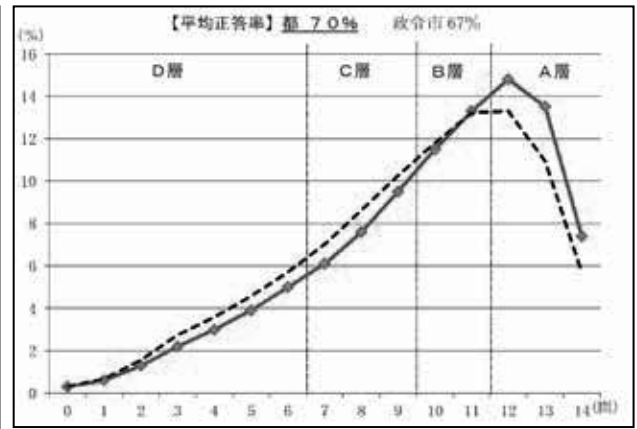
※ 政令市のデータ：公表されているデータから作成

【小学校】 ※縦軸：児童・生徒の割合 横軸：正答数

国語

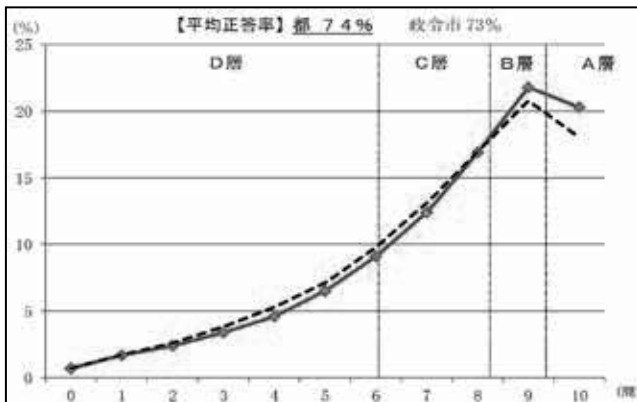


算数

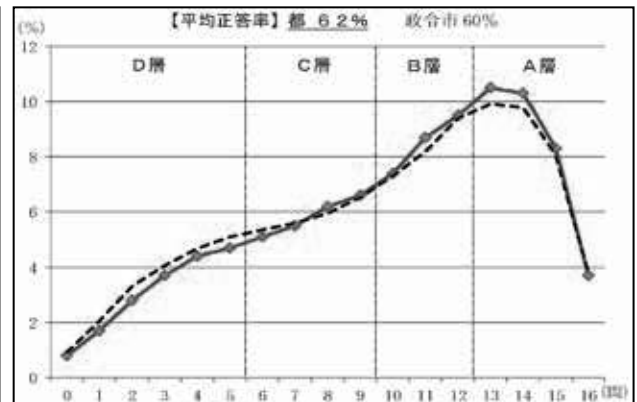


【中学校】

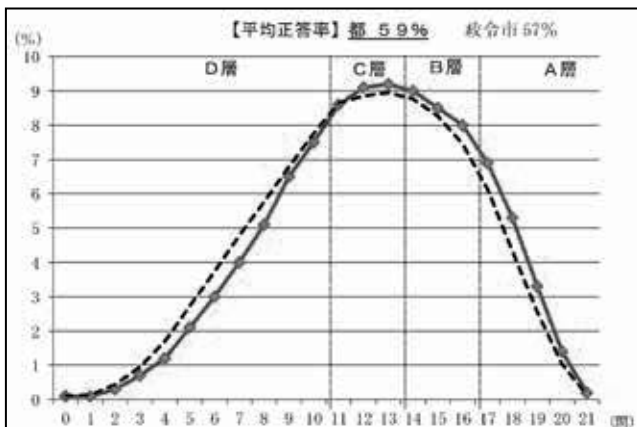
国語



数学



英語



#### 【A層、B層、C層、D層について】

各層は、調査対象者を正答数の多いほうから整列し、推計した人数比率により 25%刻みで四つの層分けを行ったものであり、上位から一番目をA層、二番目をB層、三番目をC層、四番目をD層と呼称したものである。

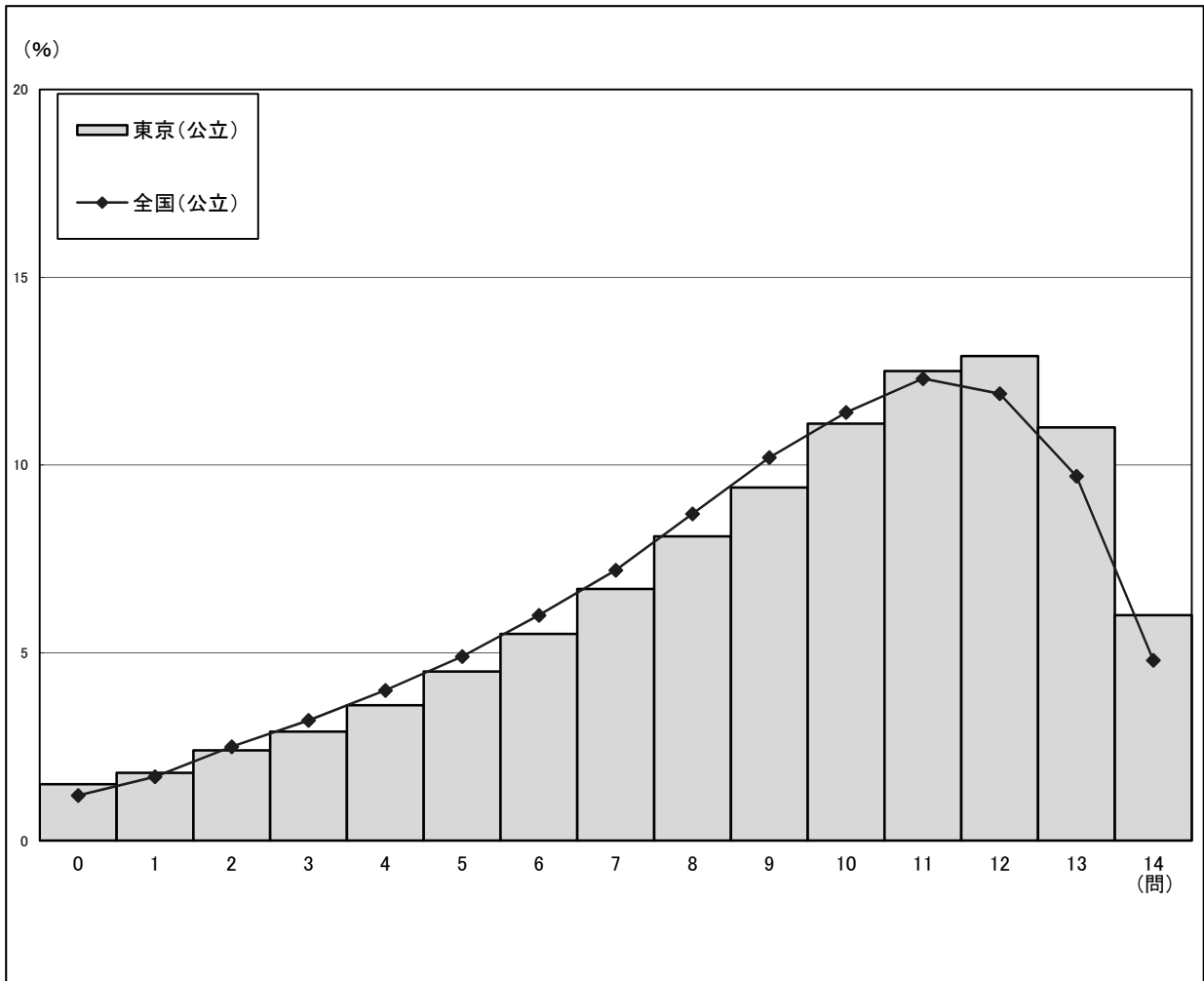
## 5 各教科の結果

### (1) 小学校国語

#### ア 調査結果の概要

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
東京都（公立）	9.1 問／14 問	65.0%	10.0	3.5
全 国（公立）	8.9 問／14 問	63.8%	10.0	3.4

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



#### イ 観点ごとの結果

	国語	
	設問数	平均正答率〔都(全国)〕
国語への関心・意欲・態度	3	57.2% (57.6%)
話す・聞く能力	3	73.1% (72.3%)
書く能力	3	55.4% (54.5%)
読む能力	3	83.0% (81.7%)
言語についての知識・理解・技能	5	55.7% (53.5%)

ウ 問題ごとの正答率と無解答率

問題 番号	問題の概要	東京都(公立)		全国(公立)	
		正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)
1一	公衆電話について調べたことを【報告する文章】で〈資料2〉と〈資料3〉をそれぞれどのような目的で用いているか、適切なものを選択する。	72.9	0.8	71.2	0.5
1二	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「(2)公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか」における書き方の工夫として適切なものを選択する。	65.0	6.5	63.4	5.9
1三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く。	28.3	5.0	28.8	3.8
1四 (1) ア	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の——部アを、漢字を使って書き直す。(調査の <u>たいし</u> よう)	42.2	9.3	41.9	8.2
1四 (1) イ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の——部イを、漢字を使って書き直す。(友達に <u>かぎ</u> らず)	71.5	13.2	69.4	12.1
1四 (1) ウ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の——部ウを、漢字を使って書き直す。(か <u>んしん</u> をもってもらいたい)	39.8	6.1	35.6	4.9
1四 (2)	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す。	51.1	12.7	47.8	11.3
2一 (1)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の□アに入る、 <u>疑問に思ったこと</u> の①に対する答えとして適切なものを選択する。	83.5	1.9	80.7	1.4
2一 (2)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の□イに、 <u>疑問に思ったこと</u> の②に対する答えになるように考えて書く。	77.0	6.3	75.9	5.0
2二	梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する。	88.4	5.1	88.5	4.2
3一	豊職人への【インタビューの様子】の□アに入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する。	83.0	4.3	81.3	3.4
3二	豊職人への【インタビューの様子】の□の場面上における、質問の工夫として適切なものを選択する。	70.2	5.3	67.4	4.2
3三	【インタビューの様子】の□イに、豊職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く。	66.2	17.5	68.2	14.2
3四	ことわざの使い方の例として、【ノートの一部】の□ウに入る適切なものを選択する。(習うより慣れよ)	74.1	9.3	73.0	7.9

エ 良好な結果であった問題

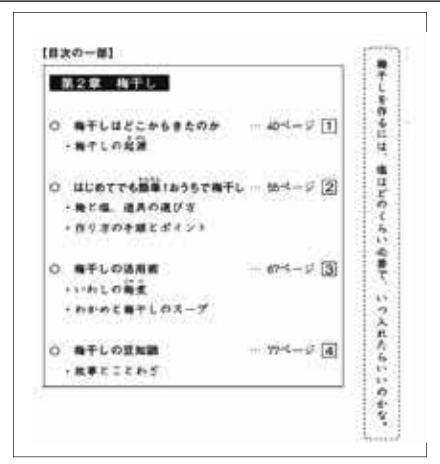
2 二

(出題の趣旨) 目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むことができるかどうかをみる。

(問題の概要)

2 二 宮原さんは、食べ物の保存について調べたあと、自分でも梅干しを作ろうと思い、必要な情報が書かれていそうな本を選びました。次は、【知りたいこと】と本の【目次の一部】です。宮原さんが読むページとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 梅干しはどこからきたのか … 40ページ 1
- はじめてでも簡単!おうちで梅干し … 55ページ 2
- 梅干しの活用術 … 67ページ 3
- 梅干しの豆知識 … 77ページ 4



(結果分析)

平均正答率

全国 88.5%

東京 88.4%

正答は、「2」で88.4%の正答率である。多くの児童が、宮原さんの【知りたいこと】と【目次の一部】から、宮原さんが読むページとして最も適切なページを選ぶことができている。誤答の要因として、宮原さんの【知りたいこと】の内容を捉え、【目次の一部】を活用し、必要な情報を得るために適切なページを選ぶことができなかつたと考えられる。この中には、宮原さんの【知りたいこと】である、「梅干しを作る」ことと【目次の一部】に書かれている「梅干しの起源」や「梅干しの活用術」という言葉とを関係付けて捉えていた児童もいたと考えられる。

3 一

(出題の趣旨) 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすることができるかどうかをみる。

(問題の概要)

3 一 【インタビューの様子】の **ア** で、岸さんは、自分の理解が正しいかどうかを確認しようと思い、質問をしています。その質問として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【インタビューの様子】 (省略)

- 1 十八歳から五十年間も、豊職人という仕事を続けることができたということでしょうか。
- 2 機械を使って一度にたくさん作るの、より多くの人が使うことができるということでしょうか。
- 3 最近作られた量の中で、特にくふうして仕上げたものにはどのようなものがあるのでしょうか。
- 4 細部までていねいに手作業で作るので、一枚も同じものはないということでしょうか。

(結果分析)

平均正答率

全国 81.3%

東京 83.0%

正答は、「4」で83.0%の正答率である。多くの児童が、【インタビューの様子】の **ア** で、自分の理解が正しいかどうかを確認しようと思った岸さんの質問として最も適切なものを選ぶことができている。誤答の要因として、【インタビューの様子】の **ア** の直前の大谷さんの発言から、「全て一

点物だ」、「完成した畳は同じように見えても、それぞれに個性がある」ということが大谷さんにとっての畳の魅力であるということをつかえることができなかつたと考えられる。また、岸さんの「自分の理解が正しいかどうかを確認」するという質問の意図をつかえることができなかつたと考えられる。

#### オ 課題がみられた問題

##### 1 四（１）ウ

（出題の趣旨）学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。

（問題の概要）

##### 1 四（１）ウ

高橋さんは、習っている漢字がひらがなになっているところがあることに気がつき、書き直すことにしました。【報告する文章】の\_\_\_\_\_部アからウのひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

【報告する文章】（省略）

そこで、地いきの人三十人を調査の アたいしょうとして、（略）

今回の調査を通して知ったことを、学級の友達に イかぎらず多くの友達に伝え、公衆電話について ウかんしんをもってもらいたいと思います。

平均正答率	全国 35.6%	東京 39.8%
-------	----------	----------

（結果分析）

アの正答は「対象」で42.2%の正答率、イの正答は「限（らず）」で71.5%の正答率、ウの正答は「関心」で39.8%の正答率である。ウの誤答の中で最も反応率が高いのは、「感心」で、42.7%である。特に、アとウについては、それぞれ同音異義語である「対称」や「感心」などとの意味の違いをつかえることができておらず、文脈の中での使い分けができなかつたと考えられる。

#### 課題を改善するために立ち戻るべき学習内容

- ◆ 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。（小学校学習指導要領 第5学年及び第6学年 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ウ(7)）

#### 日常的に文や文章の中で、漢字を正しく使うことができるようにする指導

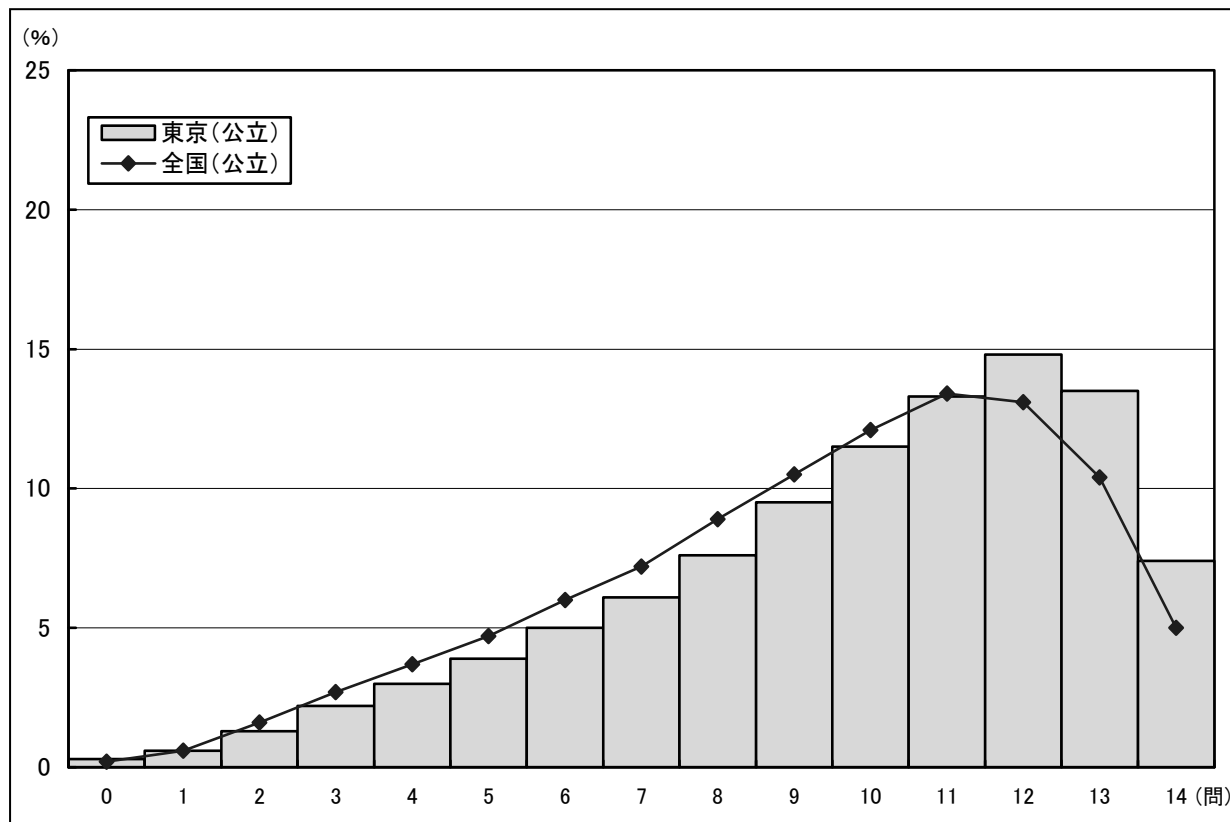
漢字の学習指導に当たっては、日常的に文や文章の中で適切に使うことができるようにすることが大切である。そのためには、新出漢字を読み方や字形に注意して繰り返し練習することにとどまらず、本問のように自分が書いた文章を見直す中で、漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中での正しい使い方を習得できるようにすることが大切である。

(2) 小学校算数

ア 調査結果の概要

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
東京都	9.8 問／14 問	70.0%	10.0 問	3.1
全 国	9.3 問／14 問	66.6%	10.0 問	3.1

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



イ 観点ごとの結果

	算数	
	設問数	平均正答率 [都(全国)]
算数への関心・意欲・態度	0	—————
数学的な考え方	8	65.5% (62.2%)
数量や図形についての技能	4	77.2% (73.6%)
数量や図形についての知識・理解	2	72.7% (70.1%)



ウ 問題ごとの正答率と無解答率

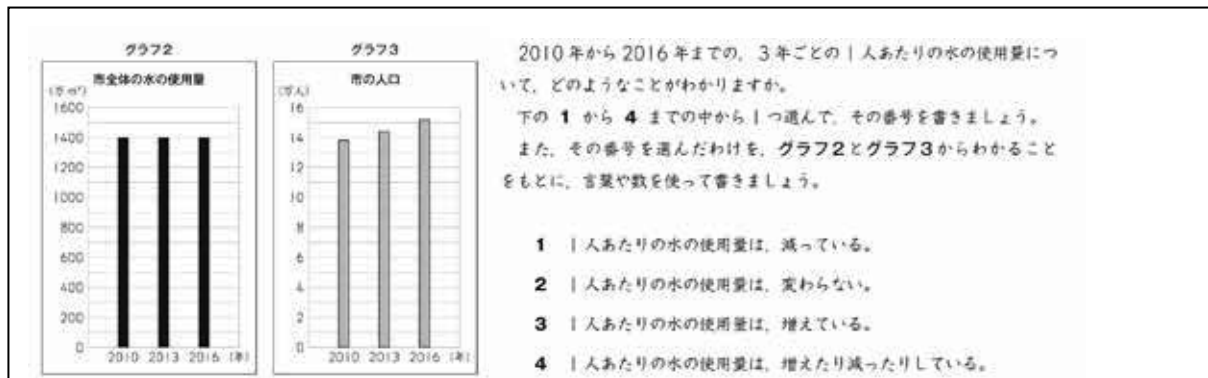
問題 番号	問題の概要	東京都(公立)		全国(公立)	
		正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)
1(1)	長方形を直線で切ってきた図形の中から、台形を選ぶ。	93.9	0.2	93.1	0.1
1(2)	二つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくることのできる形を選ぶ。	64.2	0.7	60.3	0.6
1(3)	減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く。	48.5	7.8	43.9	6.7
2(1)	1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ。	95.1	0.3	95.2	0.2
2(2)	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取って書く。	83.9	1.1	78.6	1.0
2(3)	二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだわけを書く。	58.5	2.4	52.1	2.0
2(4)	洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6 + 0.5 \times 2$ を計算する。	65.5	1.2	60.1	1.0
3(1)	$350 - 97$ について、引く数の97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く。	83.5	1.3	81.8	0.9
3(2)	減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるのかを書く。	33.6	13.3	31.1	10.8
3(3)	被除数と除数にかける数や割る数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する。	75.8	3.0	74.9	2.1
3(4)	$1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ。	51.5	2.9	47.0	2.2
4(1)	だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要のある事柄を選ぶ。	85.5	2.1	82.7	1.7
4(2)	何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを求める式を書く。	73.3	5.2	68.6	4.4
4(3)	残り7ポール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分間以内にレジに着くことができるかどうかを判断する。	65.4	3.9	62.6	3.5

エ 良好な結果であった問題

2(3)

(出題の趣旨) 二つの棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取り、それらを関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、判断の理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。

(問題の概要)



平均正答率	全国 52.1%	東京 58.5%
-------	----------	----------

(結果分析)

正答は「番号を1と選び、一人当たりの水の使用量について、グラフから読み取った資料の特徴や傾向を基に、わけを書いているもの」又は「番号を1と選び、2010年、2013年、2016年の一人当たりの水の使用量を求めて、わけを書いているもの」である。正答率は58.5%であり、全国の正答率を6.4%上回っている。誤答の中では、「番号を2と選び、市全体の水の使用量が変わらないことを表す言葉や数を書いているもの」が最も多く（東京都12.9%、全国17.3%）、この誤答の要因として、グラフ2のみに着目して、複数の資料の特徴や傾向を関連付けて判断することができていないことによるものと考えられる。

4(2)

(出題の趣旨) 示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができるかどうかをみる。

(問題の概要)

次に、はるとさんたちは、観覧車に乗るために列に並んでいます。  
 観覧車のゴンドラは36台で、ゴンドラ1台に1組ずつ乗ります。ゴンドラは1台来るのに20秒かかります。  
 今の先頭はあかりさんたちです。はるとさんは、あかりさんたちの10組後ろにいます。  
 あかりさんたちがゴンドラに乗ってから、はるとさんが何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを考えます。  
 はるとさんがゴンドラに乗ることができるのは何秒後かを求める式を書きましょう。  
 ただし、計算の答えを書く必要はありません。

平均正答率	全国 68.6%	東京 73.3%
-------	----------	----------

(結果分析)

正答は「 $20 \times 10$ 」である。正答率は73.3%であり、全国の正答率を4.7%上回っている。誤答の中では、36を使った式が最も多く（東京都10.5%、全国14.3%）、これらの中には、「 $36 \div 20$ 」や「 $36 \times 20$ 」などの解答がある。このように解答した児童は、複数の数量から必要な数量を選ぶことができていないと考えられる。

オ 課題がみられた問題

3(2)

(出題の趣旨) 示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を言葉を用いて記述できるかどうかをみる。

(問題の概要)

<p><b>【ゆいさんがまとめたこと】</b></p> <p>ひき算では、 ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、 ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、 差は変わりません。 このことを使くと、計算しやすいひき算の式で考えることができます。</p> <p>⑫) ひき算について書かれた【ゆいさんがまとめたこと】と同じように、わり算についても、【ことねさんの計算の仕方】をもとにまとめると、どのようなになりますか。 下の「.....」の中に「わられる数」、「わる数」、「商」の3つの言葉を使って書きましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>わり算では、</p> <p style="text-align: center;">※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。</p> </div> <p>このことを使くと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。</p>	<p><b>【ことねさんの計算の仕方】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <math display="block">400 \div 25 = \square</math> <math display="block">\downarrow \times 4 \quad \downarrow \times 4</math> <math display="block">1600 \div 100 = 16</math> <p style="text-align: right;">変わらない</p> </div> <p>だから、<math>400 \div 25</math>の答えの□は、16です。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <math display="block">90 \div 18 = \square</math> <math display="block">\downarrow \div 9 \quad \downarrow \div 9</math> <math display="block">10 \div 2 = 5</math> <p style="text-align: right;">変わらない</p> </div> <p>だから、<math>90 \div 18</math>の答えの□は、5です。</p>
---	--

平均正答率	全国 31.1%	東京 33.6%
-------	----------	----------

(結果分析)

正答は『①わられる数とわる数に同じ数をかけることを表す言葉』、『②わられる数とわる数を同じ数でわることを表す言葉』及び『③商が変わらないことを表す言葉』の三つ全ての内容を書いているもので、正答率は33.6%である。誤答の中で最も反応率が高いのは「①②について書き、③の商が変わらないことについて書いていないもの、①②については具体的な数を用いて書いているもの」で、10.3%である。この誤答の要因として、わられる数とわる数に同じ数をかけることと、わられる数とわる数を同じ数でわることは記述できているが、商が変わらないことは記述できていないことによるものと考えられる。

**課題を改善するために立ち戻るべき学習内容**

- ◆ 加法及び減法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。 (小学校学習指導要領 第3学年 数と計算(2)ウ)
- ◆ 除法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。 (小学校学習指導要領 第4学年 数と計算(3)エ)

**計算に関して成り立つ性質を見だし、表現することができるようにする指導**

適用する数の範囲を広げていながら統合的・発展的に考え、計算に関して成り立つ性質を見だし、表現することができるようにすることが重要である。

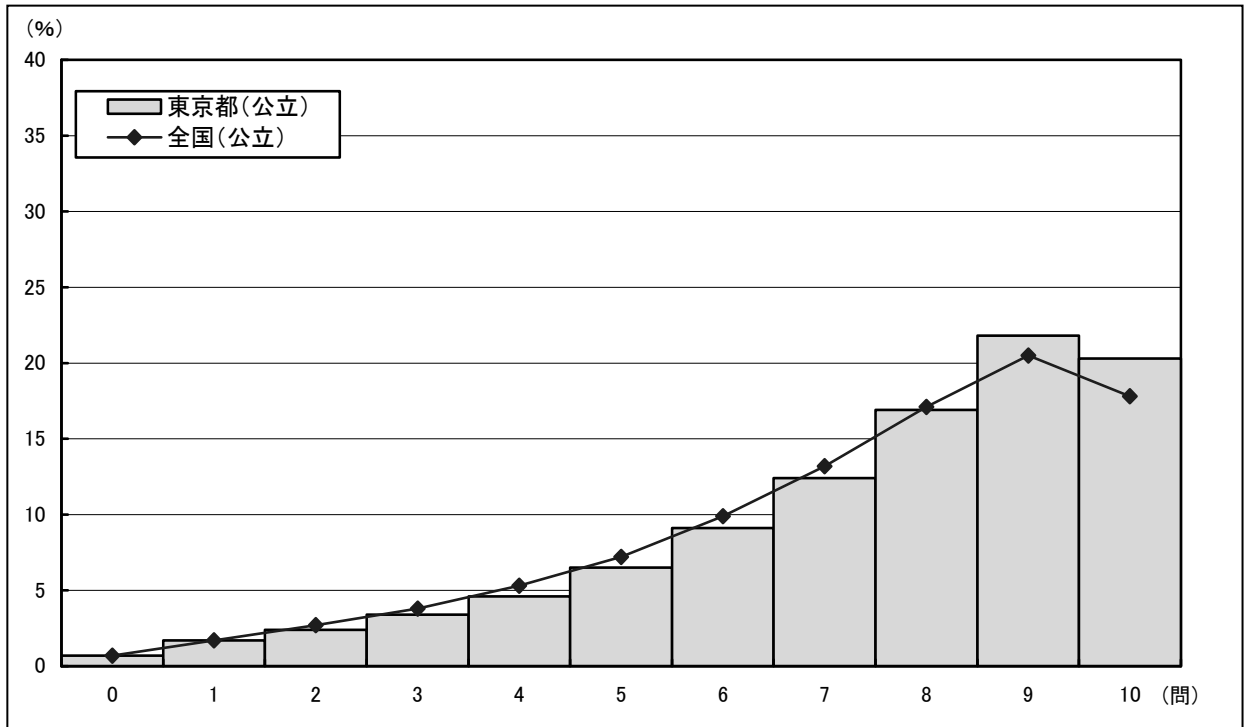
指導に当たっては、例えば、商が同じになる幾つかの除法の式を基に、除法に関して成り立つ性質を見いだす活動が考えられる。その際、被除数と除数や、商について、適用する数の範囲を広げながら、見いだしたことがほかの数値の場合でも成り立つかどうかを確かめることができるようにすることが大切である。

(3) 中学校国語

ア 調査結果の概要

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
東京都	7.4 問／10 問	74.0%	8.0 問	2.4
全 国	7.3 問／10 問	72.8%	8.0 問	2.4

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



イ 観点ごとの結果

	国語	
	設問数	平均正答率〔都(全国)〕
国語への関心・意欲・態度	3	77.1(76.5)
話す・聞く能力	3	72.2(70.2)
書く能力	2	83.0(82.6)
読む能力	3	74.3(72.2)
言語についての知識・理解・技能	2	69.6(67.7)

ウ 問題ごとの正答率と無解答率

問題 番号	問題の概要	東京都(公立)		全国(公立)	
		正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)
1一	「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。……第一回は、弁当です。」について説明したものとして適切なものを選択する。	68.1	0.2	63.9	0.1
1二	「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する。	63.8	0.2	61.5	0.1
1三	「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く。	90.9	1.9	91.2	1.7
1四	「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く。	59.4	5.5	56.8	5.6
2一	話合いでの発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する。	82.3	0.3	80.4	0.2
2二	話合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する。	71.9	0.4	69.7	0.3
2三	話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く。	62.5	8.6	60.4	8.9
3一	意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する。	88.1	0.6	87.4	0.4
3二	広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える。	77.9	7.8	77.8	7.9
4	語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する。	79.8	1.4	78.7	1.2

エ 良好な結果であった問題

2一

(出題の趣旨) 話し合いの話題や方向を捉えることができるかどうかをみる。

(問題の概要)

場面①における山下さんの発言は、話し合いの中でどのような役割を果たしていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 これまでの話し合いで出されていない考えを補足するとともに、これからの話し合いの意義を確かめる役割。
- 2 これまでの話し合いの改善点を指摘するとともに、話し合ったことで生じた疑問を確かめる役割。
- 3 これまでの話し合いの仕方を振り返るとともに、これからの話し合いの仕方の留意点を明らかにする役割。
- 4 これまでの話し合いの結論を示すとともに、これから話し合う内容を明らかにする役割。



平均正答率	全国 80.4%	東京 82.3%
-------	----------	----------

(結果分析)

正答は「4」で、82.3%の正答率である。多くの生徒が、話し合いでの発言の役割について説明したものとして適切なものを選択することができている。誤答の要因として、場面①における山下さんの最初の発言が「これまでの話し合いの結論」を示し、次の発言が「これから話し合う内容」を明らかにする役割を果たしていることを理解できなかったことによるものと考えられる。

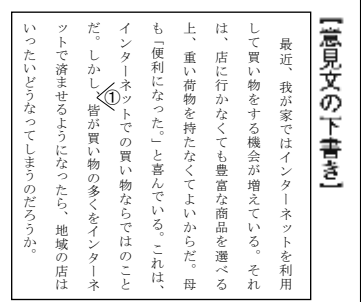
3一

(出題の趣旨) 書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討することができるかどうかをみる。

(問題の概要)

青木さんは、読み手にとってより分かりやすい文章にするために、【意見文の下書き】の①のところに言葉を入れて書き直すことにしました。書き加える言葉として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 たとえ我が家がインターネットを利用して、
- 2 たとえ我が家が地域の店を利用しなくても、
- 3 いくらインターネットが便利でも、
- 4 いくら地域の店が便利でも、



平均正答率	全国 87.4%	東京 88.1%
-------	----------	----------

(結果分析)

正答は「3」で、88.1%の正答率である。多くの生徒が、意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択することができている。誤答の要因として、第一段落の前半と第二段落との内容をつなぐために、「しかし、皆が買い物の多くをインターネットで済ませるようになったら、地域の店はいったいどうなってしまうのだろうか。」という一文があることなど、文章の構成や展開が理解できていないことによるものと考えられる。

オ 課題がみられた問題

2三

(出題の趣旨) 話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことができるかどうかをみる。

(問題の概要)

**場面③**の **A** で山下さんは、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを述べようとしています。あなたなら、どのような考えを述べますか。次の**条件1**と**条件2**にしたがって、実際に話すように書きなさい。

**条件1** 話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないこと」とは何かを明確にして書くこと。

**条件2** **条件1**で示した「どうするか決まっていないこと」を解決する具体的な案を考えて書くこと。

平均正答率	全国 60.4%	東京 62.5%
-------	----------	----------

(結果分析)

正答例は『土足禁止』という表現をどのように直すのかについては、『土足のまま上がることは禁止しています。』とするのがよいと思います。」等で、62.5%の正答率である。

誤答として条件2を満たさないで解答しているものが10.0% (全国9.4%)と多かった。この誤答の要因として、話し合いの流れを踏まえて「どうするか決まっていないこと」とは何かを指摘することはできているが、それを解決する具体的な案を示すことができていないことによるものと考えられる。ここでは、「土足禁止」という掲示物の表現について、「展示や発表を見に来てくださる方に対する言葉の使い方としては、ふさわしくない」という西野さんの発言や、「どのような表現に直すのかについては、話し合わないといけません」という山下さんの発言を踏まえ、どのような課題があるのかを明確にした上で、それを解決する具体的な案を示す必要がある。

**課題を改善するために立ち戻るべき学習内容**

- ◆ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。  
(中学校学習指導要領 第1学年 A話すこと・聞くこと エ)
- ◆ 話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。  
(中学校学習指導要領 第1学年 A話すこと・聞くこと オ)

**話し合いの話題や方向を捉え、自分の考えをもたせる指導**

話し合いをする際には、話題や方向を的確に捉え、自分の考えをもちながら参加するように指導することが大切である。また、何のためにどのような状況で話し合っているのかを意識した上で、必要に応じて重要な情報を書き留めたり確かめたいことなどを質問したりして、話し合いの内容を振り返ることができる力を身に付けさせることも必要である。このような指導を通して、話し合いの展開に応じて、自分の考えと他者の考えとを結び付けたり、他者同士の発言を結び付けたりして、自分の考えや集団としての考えをまとめられるようにすることが求められる。

例えば、小学校での学習を踏まえ、司会の進め方や話し合いの記録の仕方などを確認した上で、実際に記録を取りながら話し合いを行うなどの学習活動が考えられる。その際、話し合いの途中で、それぞれの発言の仕方について留意すべき点を確認したり、目指している到達点に向けて取り上げる話題をどのようにしぼり込めばよいかについて考えたりするなど、話し合いの仕方を見直ししながら進めるように指導することも効果的である。

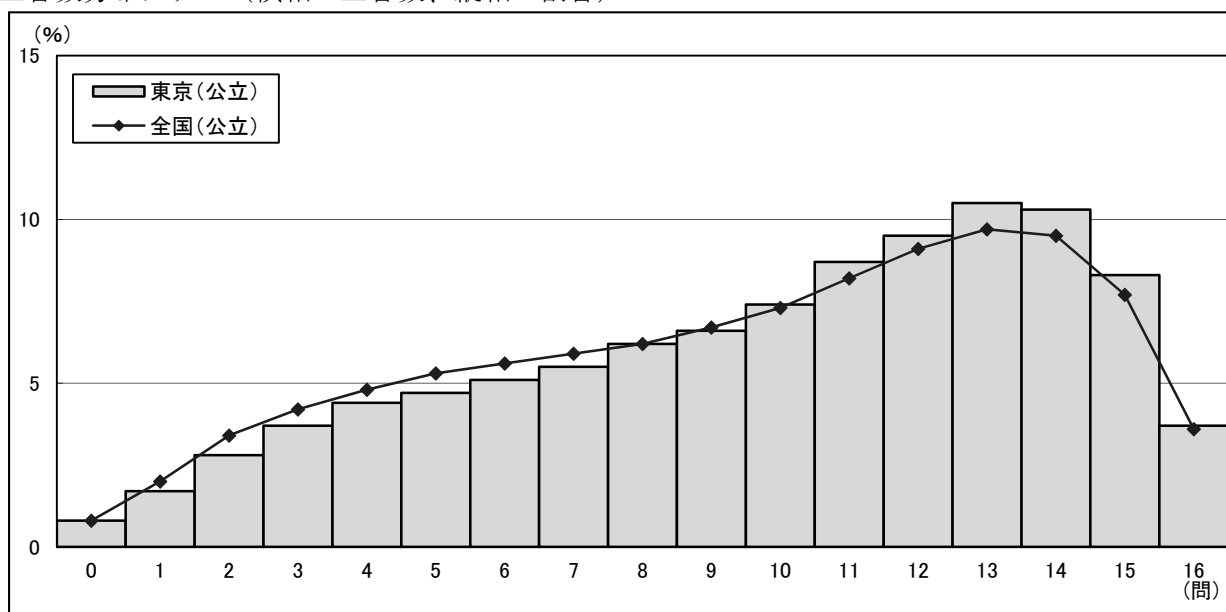
(4) 中学校数学

ア 調査結果の概要

【数学】

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
東京都	9.9 問／16 問	62.0%	11.0 問	4.1
全 国	9.6 問／16 問	59.8%	10.0 問	4.2

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



イ 観点ごとの結果

	数学	
	設問数	平均正答率〔都(全国)〕
数学への関心・意欲・態度	0	—————
数学的な見方や考え方	8	52.8% (51.0%)
数学的な技能	3	66.9% (63.9%)
数量や図形などについての知識・理解	5	72.6% (71.3%)



ウ 問題ごとの正答率と無解答率

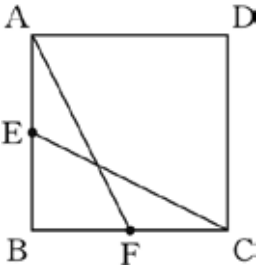
問題 番号	問題の概要	東京都(公立)		全国(公立)	
		正答率 (%)	無解答 率 (%)	正答率 (%)	無解答 率 (%)
1	$a$ と $b$ が正の整数のとき、四則計算の結果が正の整数になるとは限らないものを選ぶ。	60.6	0.2	62.2	0.2
2	連立二元一次方程式 $\begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases}$ を解く。	74.2	4.5	70.1	5.1
3	$\triangle ABC$ を、矢印の方向に $\triangle DEF$ まで平行移動したとき、移動の距離を求める。	84.9	0.8	83.6	0.7
4	反比例の表から式を求める。	50.2	11.4	48.9	10.4
5	2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める。	76.2	2.8	72.8	3.3
6 (1)	冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pの $y$ 座標と点Qの $y$ 座標の差が表すものを選ぶ。	39.4	0.4	38.8	0.3
6 (2)	冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する。	36.6	11.5	34.7	11.6
7 (1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く。	79.6	4.9	75.8	5.2
7 (2)	ある予想に対して与えられた図が反例となっていることの説明として正しいものを選ぶ。	79.2	0.6	77.2	0.5
7 (3)	四角形ABCDがどのような四角形であれば、 $AF = CE$ になるかを説明する。	56.4	16.5	53.3	17.6
8 (1)	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める。	58.7	11.3	57.9	10.6
8 (2)	「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する。	41.0	20.1	40.8	21.3
8 (3)	図書だよりの下書きに書かれているわかったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ。	55.4	1.4	53.6	1.0
9 (1)	説明をよみ、 $6n + 9$ を $3(2n + 3)$ に変形する理由を完成する。	60.0	10.2	57.4	9.5
9 (2)	連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成する。	61.8	16.1	59.7	17.8
9 (3)	連続する4つの奇数の和が $4(2n + 4)$ で表されたとき、 $2n + 4$ はどんな数であるかを選ぶ。	71.9	2.2	69.6	1.9

エ 良好な結果であった問題

7(1)

(出題の趣旨) 証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している。

(問題の概要)



**予想 1**

正方形ABCDの辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとすると、  
 $AF = CE$ になる。

予想 1 が成り立つことの証明内の、  
 に当てはまる三角形の合同条件を書きなさい。(証明は省略)

平均正答率	全国 75.8%	東京 79.6%
-------	----------	----------

(結果分析)

正答は「2組の辺とその間の角」と解答しているもので、79.6%の正答率であり、全国の正答率を3.8%上回っている。

9(3)

(出題の趣旨) 統合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる。

(問題の概要)

**拓斗さんの計算**から、連続する4つの奇数の和は $2n+4$ の4倍になることがわかります。 $2n+4$ はどんな数ですか。

ア 連続する4つの奇数のうち小さい方から2番目の奇数  
 イ 連続する4つの奇数のうち小さい方から3番目の奇数  
 ウ 連続する4つの奇数のうち小さい方から1番目の奇数と2番目の奇数の間にある偶数  
 エ 連続する4つの奇数のうち小さい方から2番目の奇数と3番目の奇数の間にある偶数  
 オ 連続する4つの奇数のうち小さい方から3番目の奇数と4番目の奇数の間にある偶数

**拓斗さんの計算**

$$\begin{aligned} & (2n+1) + (2n+3) + (2n+5) + (2n+7) \\ &= 2n+1 + 2n+3 + 2n+5 + 2n+7 \\ &= 8n+16 \\ &= 4(2n+4) \end{aligned}$$

平均正答率	全国 69.6%	東京 71.9%
-------	----------	----------

(結果分析)

正答は「エ」で、71.9%の正答率であり、全国の正答率を2.3%上回っている。誤答の中では「ウ」を選択した生徒が最も多く(東京都10.7%、全国12.0%)、これらの中には、 $2n+4$ が偶数を表していることは捉えることができたが、 $2n+3$ と $2n+5$ の間の数であることを捉えることができなかった生徒がいると考えられる。

オ 課題がみられた問題

1

(出題の趣旨) 数の集合と四則計算の可能性について理解している。

(問題の概要)

$a$  と  $b$  が正の整数のとき、下のアからエまでの計算のうち、計算の結果が正の整数にならないことがあるものをすべて選びなさい。

ア  $a + b$       イ  $a - b$       ウ  $a \times b$       エ  $a \div b$

平均正答率

全国 62.2%

東京 60.6%

(結果分析)

正答は「イ、エ」で、正答率は 60.6% であり、全国の平均正答率である 62.2% と比較すると 1.6 ポイント低い。さらに、解答類型から、「イ」のみ解答している割合が、全国の 15.1% と比べ、東京都は 17.7% と、2.6 ポイント高かった。 $a$  と  $b$  が正の整数のとき、 $a$ 、 $b$  の差だけが正の整数にならないことがあると捉えた生徒がいると考えられる。

課題を改善するために立ち戻るべき学習内容

- ◆ 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようにするとともに、正の数と負の数をを用いて表現し考察することができるようにする。

ア 正の数と負の数の必要性と意味を理解すること。

(中学校学習指導要領 第1学年 A 数と式 ア)

四則計算の可能性について考察する場面において、四則計算の結果の特徴を的確に捉え、その計算の可能性について、数の集合と関連付けて理解できるように指導することが大切である。

例えば、以下のように具体的な四則計算に立ち戻り、考察していく活動を取り入れることが考えられる。

①  $a = 4$ 、 $b = 2$  の場合

⇒  $4 \div 2$ 、 $4 - 2$ 、 $4 \times 2$ 、 $4 \div 2$  の結果はいずれも正の整数になる。

②  $a = 2$ 、 $b = 3$  の場合

⇒  $2 - 3$  の結果が負の数になる。また、 $2 \div 3$  の結果は整数ではない。

このように、 $a$  と  $b$  に様々な正の整数を代入して四則計算を行い、その結果の特徴を的確に捉えて、計算の可能性について考察する場面を設定することが大切である。

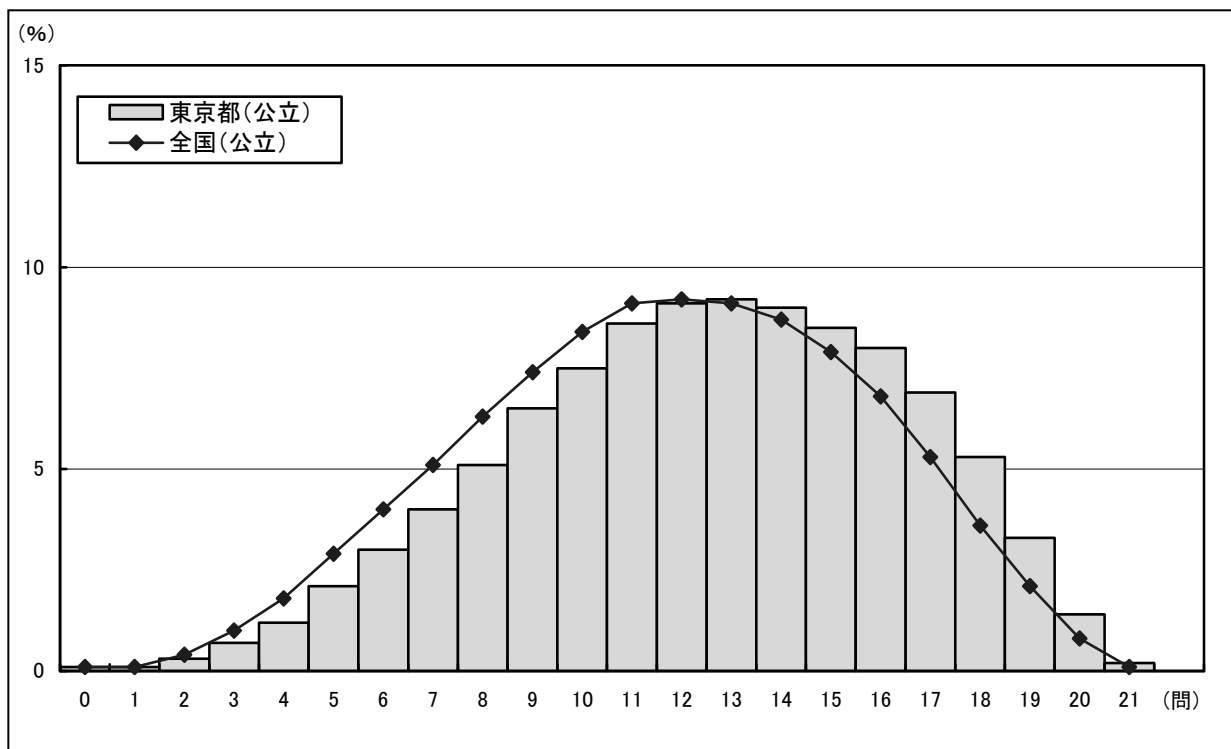
このような活動を通して、数の集合を自然数の集合から整数の集合へ、さらには有理数の集合へと数の範囲を拡張し、捉え直した数の集合とその集合における四則計算の可能性について取り上げ、数の概念の理解を深めることが大切である。

(5) 中学校英語

ア 調査結果の概要

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
東京都	12.5 問／21 問	59.0%	13.0 問	3.9
全 国	11.8 問／21 問	56.0%	12.0 問	3.9

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



イ 観点ごとの結果

	英語	
	設問数	平均正答率〔都（全国）〕
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	0	—————
外国語表現の能力	1	2.3% (1.8%)
外国語理解の能力	6	48.2% (44.7%)
言語や文化についての知識・理解	14	68.4% (64.7%)

ウ 問題ごとの正答率と無解答率（聞くこと、読むこと、書くこと）

問題 番号	問題の概要	東京都(公立)		全国(公立)	
		正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)
1 (1)	ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する。	93.1	0.2	91.1	0.2
1 (2)	教室英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択する。	91.8	0.2	88.6	0.1
1 (3)	外国人の先生と女子生徒の会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する。	75.7	0.2	72.3	0.2
1 (4)	家ででの会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する。	66.7	0.2	61.8	0.2
2	イギリスと日本の類似点や相違点についてのスピーチを聞いて、話の展開に合わせて示す絵を並び替える。	73.8	0.2	71.8	0.2
3	天気予報を聞いて、ピクニックに行くのに最も適する曜日を選択する。	85.0	0.2	82.0	0.2
4	来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く。	11.6	38.5	7.6	42.3
5 (1)	ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択する。	83.5	0.2	79.4	0.2
5 (2)	ある状況を描写する英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を選択する。	76.7	0.2	74.4	0.2
5 (3)	月ごとの平均気温を表したグラフを見て、その内容を正しく表している英文を選択する。	76.7	0.5	73.1	0.4
6	発表活動のためにまとめられた 100 円ショップについての文章を読んで、話の流れを示すスライドとして最も適切なものを選択する。	67.9	0.5	62.9	0.4
7	チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する。	37.5	1.1	32.8	1.0
8	食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く。	13.5	25.3	10.9	27.9
9 (1) ①	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する。	81.9	0.4	79.9	0.3
9 (1) ②	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する。	65.5	0.6	58.2	0.5
9 (2) ①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く。	77.8	4.0	73.6	4.4
9 (2) ②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く。	35.9	11.0	28.9	12.6
9 (3) ①	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く。	55.7	5.7	53.5	6.4
9 (3) ②	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く。	35.8	7.5	32.9	9.3
9 (3) ③	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く。	40.9	9.0	37.4	10.5
10	学校を表す2つのピクトグラム（案内用図記号）の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く。	2.3	7.8	1.8	8.3

エ 良好な結果であった問題

3

(出題の趣旨) まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができるかどうかをみる。

(問題の概要)

(放送問題)

アメリカでホームステイ中のあなたは、天気予報を聞きながらピクニックに行く計画を立てています。ピクニックに行くのに最も適しているのは、何曜日でしょうか。下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 Thursday                      2 Friday                      3 Saturday                      4 Sunday

(スクリプト)

Good morning. It's Thursday, April eleventh. Here's the weather. It was nice and warm yesterday, but not today. It will be cloudy and cold in the morning, and sometimes rainy in the afternoon. Tomorrow will be sunny but much colder. The weather will be nice on Saturday, so it will be a good day to go outside and enjoy the sun. On Sunday, it will be rainy again.

平均正答率	全国 82.0%	東京 85.0%
-------	----------	----------

(結果分析)

正答は「3」で、85.0%の正答率である。多くの生徒が、天気予報を聞いてピクニックに行くのに最も適する曜日を選択することができており、まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を聞き取る力が身に付いている。

5(1)

(出題の趣旨) 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができるかどうかをみる。

(問題の概要)

次の英文を読んで、( ) 内に入る最も適切な語(句)を、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

People go to ( ) when they want to borrow books.

You can read books or study there.

- 1 hospitals                      2 libraries                      3 book stores                      4 restaurants

平均正答率	全国 79.4%	東京 83.5%
-------	----------	----------

(結果分析)

正答は「2」で、83.5%の正答率である。多くの生徒が、ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択することができており、日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができている。

誤答の中では、「3」を選択した生徒が最も多く(東京都14.1%、全国17.2%)、このように解答した生徒は、borrowの意味を理解できていないか、2文目を正確に読み取ることができていないと考えられる。

オ 課題がみられた問題

8

(出題の趣旨) 書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などを捉えることができるかどうかをみる。

(問題の概要)

英語の授業で、次のような資料が配られました。これを読んで、文中の問いかけに対するあなたの考えを英語で簡潔に書きなさい。

There are a lot of hungry people in the world. The World Food Programme gives food to about 90,000,000 people in 83 countries. Japan is a member of this project. However, here in Japan, people waste more than 6,000,000t of food every year. It means that one person wastes two rice balls every day. We waste food not only at home, but also at restaurants, convenience stores, supermarkets, schools, and some other places. That is really *mottainai*! We have to stop wasting food now. What can we do about this problem?

平均正答率

全国 10.9%

東京 13.5%

(結果分析)

正答は「食糧を無駄にすることをやめるために自分ができることについて、十分理解できる英語、又はおおむね理解できる英語で解答しているもの (We should not buy too much food.等)」及び「問題点が飢餓に苦しむ人々がたくさんいることだと捉え、自分ができることを解答しているもの (We should give food to poor countries to help hungry people.等)」で、これらを合わせた正答率は13.5%である。

誤答として、「食糧を無駄にすることをやめるために自分ができることを示していないもの」が最も多く (東京都 41.3%、全国 39.0%)、このように解答した生徒は、理解に支障をきたすような語や文法事項等の誤りはないものの、「食糧を無駄にすることをやめるために何ができるか」という問い掛けに対し、同様の内容を繰り返すだけであったり、ただ感想を述べているだけであったりするなど、解決策としての適切さや具体性に欠けており、資料の内容を十分に捉えられていないと考えられる。

課題を改善するために立ち戻るべき学習内容

- ◆ 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。

(中学校学習指導要領 言語活動 ウ 読むこと (ウ))

**読むだけにとどめずに、読んだ内容について、自分の考えを整理して述べるようにする指導**

読んだことについて、自分の考えを述べる際には、単に内容を理解するだけでなく、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解していくことが大切である。指導に当たっては、読む目的に応じた要点を把握した上で、得られた複数の情報を取り出して総合的に判断し、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域間の統合的な言語活動を工夫することで、批判的な読み方を育てることが重要である。

具体的な指導としては、例えば、「①教科書等に取り上げられている環境問題などに関する説明文を読み、書き手の主張を数文でまとめた上で、②話題になっている問題に対して自分でできることなどについてペアやグループで尋ね合ったり伝え合ったりするとともに、③自分の使った英語を振り返り、表現の正確さを高め、④伝え合ったことを最終的な自分の意見として簡潔に書いてまとめる」といった手順の言語活動を通して指導することが考えられる。